Ⅳ その他について

＊カメラ用の電池はリチウムの[2CR5]、データバック用にはリチウムのコイン型電池[CR2025]を使用します。

＊電池は正しく使用しましょう。誤った使い方ではめ・発熱・破損の原因となります。電池の＋を間違えないように注意ください。

＊電池は幼児の手に届かない所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。治療方法についてのお問い合わせ先。

発火中毒110番：0298 (52) 9999 24時間体制
大阪中毒110番：06 (451) 9999 24時間体制

＊電池をショートさせたり、分解や充電をしたり、火の中に入れると破裂・発火の恐れがありますので絶対にしないでください。

＊海外旅行や寒冷地での撮影や写真をたくさん撮る予定のあるときなどは、予備電池を用意しておくと安心です。

＊低温では、一時的に電池の性能が低下して容量（能力）不足になることがありますので、できるだけ新機の電池を使うか、もう一つの電池を用意して交互に保温しながらお使いください。

＊カメラバックなどに入れるとき、シャッターボタンが押されると電池が消耗します。電源スイッチを切っておくと安全です。

＊内蔵ストロボを連続して使うと、カメラ用の電池が多少温かくなる場合がありますが、これは電池の特性で異常ではありません。

撮影可能フィルム本数およびパルブ時間

<table>
<thead>
<tr>
<th>一般撮影</th>
<th>約80本</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ストロボ撮影（使用率50%）</td>
<td>約25本</td>
</tr>
<tr>
<td>ストロボ撮影（使用率100%）</td>
<td>約14本</td>
</tr>
<tr>
<td>パルブ露出時間</td>
<td>約6時間</td>
</tr>
</tbody>
</table>

新品のリチウム電池[2CR5]で、当社試験条件による。（24枚撮りフィルム、常温）

＊撮影可能フィルム本数は、使用条件によって変わりますのでご注意ください。

2) 取り扱い上の注意

カメラは精密機械です。取り扱いには充分ご注意ください。

保管上の注意

＊高温多湿の所へ保管したり、長時間放置することとは避けしてください。特に車の中は高温になることがありますのでご注意ください。

＊カメラは、防湿剤入りのオックスまたは雑品を扱う実験室を避けてください。また、カビ防止のためケースから出して風通しの良い所に保管してください。

お手入れ上の注意

＊レンズやファインダー窓のホコリはプロペラで吹き飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。

＊汚れ落ちしに、シンナー、アルコール、ベンジンなどの有機溶液は使用しないでください。

＊ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などでカメラの中に入れると、故障の原因になりますのでご注意ください。保証期間中でも有料修理になる場合があります。雨や水滴などが付いたときは、よく拭いて乾かしてください。

＊シャッター幕やミラーには、手を触れないでください。

＊カメラ内部には、高電圧部があります。危険ですから決して分解しないでください。

＊一般に、電気系のトラブルは接点部の汚れやゴミが原因になる場合が多いものです。もし、電気系の不具合と思われる現象が出たときは、電池の接点や各部の接点に手汗などの汚れ、塩分や特殊ガスなどによる腐食、あるいはゴミなどが付いていないかチェックしてみてください。

撮影時の注意

＊落したり、固いものにぶつからないようにしてください。もし強いショックや圧力を与えた場合は点検を受けてください。

＊寒い夕方から寒い部屋へ持ち込むと（または逆の場合）、カメラの内部に水滴を生じます。このような環境では、カメラをバッグやビニール袋に入れて、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから、取り出してください。
LCD（液晶）用バックアップ回路について
撮影途中のフィルムがカメラに入っているとき、電池交換のために電池を抜いても、撮影枚数とフィルム度はカメラに記録されています。

LCD（液晶）表示について
* 約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
* 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなったり、消えることがありますが、これは液晶の性質によるもので、常温に戻れば正常になります。

3）こんなときは？
修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください

<table>
<thead>
<tr>
<th>症状</th>
<th>原因</th>
<th>処置</th>
<th>参照ページ</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>チャッターが切れない</td>
<td>電極スイッチが入っていない。</td>
<td>電極スイッチを入れてください。</td>
<td>15ページ</td>
</tr>
<tr>
<td>バッテリー警告マークが点滅中</td>
<td>電極を交換してください。</td>
<td>10ページ</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>電池が逆に入っている。</td>
<td>電池を正しく入れてください。</td>
<td>10ページ</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 表示パネルに表示が出ない。 | 電極スイッチが入っていない。 | 電極スイッチを入れてください。 | 15ページ |
| 電池が入っていない。 | 電池を入れてください。 | 10ページ |
| 電極が逆に入っている。 | 電極を正しく入れてください。 | 10ページ |
| 電池が完全に消費している。 | 電池を交換してください。 | 10ページ |

| ピントが合わない。 | ピントを合わせたい物（被写体）にAFフレーム [ ] が入っていない。 | ピントを合わせたい物（被写体）にAFフレーム [ ] に入れて撮影してください。 | 30ページ |
| 被写体に近づきすぎている。 | 被写体から離れてください。 | 30ページ |
| フォーカスモードレバーが【MANUAL】になっている。 | フォーカスモードレバーを【SINGLE】にしたくてください。 | 29ページ |
| オートフォーカスの苦手な被写体。 | オートフォーカスを使うか、マット部分でのピント合わせをしてください。 | 32ページ |
| ファインダー内の [ ] が点滅する。 | 撮影する距離が近すぎたり、オートフォーカスの苦手な被写体などのためピント合わせができない。 | オートフォーカスをつか、マット部分でのピント合わせをご利用ください。 | 32ページ |

| 内蔵ストロボが充電しない。 | 電池が消耗している。 | 電池を交換してください。 | 10ページ |
| フォーカスモードレバーが【SERVO】でシャッターボタンを押している。 | シャッターボタンを押してください。 | 72ページ |
| フォーカスロックができない。 | フォーカスモードレバーが【SERVO】になっていない。 | フォーカスモードレバーを【SINGLE】にする。 | 29ページ |
静電気などの影響により、希にカメラが正しい作動をしないことがあります。このような場合には、一旦電池を取り直していただけます。また、ミラーが上がったままになった場合は、電池を取り出し、カメラを通じてから電池を再取り付けると、ミラーが下がります。これらを行なえば、カメラが正常に作動すれば故障ではありませんので、そのままお使いいただけます。

4）主な仕様

型式：TTLストロボ内蔵 TLLAE・AF35mmⅡ一眼レフカメラ
画面サイズ：24×36mm
使用フィルム：35mmフィルム（J135バローレー入）35mmDフィルム＝ISO25〜5000 D穴でないフィルムはISO6〜6400
露出モード：ハイパーアプログラム自動露出、プログラム自動露出、絞り優先自動露出、ハイパーマニュアル露出、パルプ
シャッター：電子制御式超高速リモコンブレーキシャッター オートシャッター＝1/5000秒〜30秒（無段階）、マニュアルシャッター＝1/8000秒〜30秒、パルプ、電磁リリース、電磁スイッチ切替でシャッターロック
レンズマウント：ペンタックスペンタマウントKAFマウント（AFキャップ、レンズ情報接点、パワーバース用電源ピン付きKマウン

使用レンズ：KAF、Kマウントレンズ、KA、Kマウントレンズ（AFアダプター使用でAF可能）
オートフォーカス機構：TTL相対差検出、オートフォーカス作動速度範囲F0.8〜1.8 （1.4レンズ付き）、フォーカスロック可能、フォーカスモード＝SINGLE、SERVO（動体予測可）、MANUAL、AFスピードピット有

パワーサーモン：PASズームレンズとの組み合わせにより、3速パワーサーモンズームクリップ・露出間ズームが使用可能

ファインダー：バントリズムファインダー、交換式アフレックスマクロマットフォーカシングスクリーン、視野率92%

オートフーカス機能：F値＝フォーカスインジケーション（）点灯＝合焦表示、（）点滅＝合焦不能表示、シャッターレンズ速度＝8000〜30秒、絞り＝12〜90、（）点滅＝露出補正完了表示（）点滅＝電源電池電量表示、（）点滅＝電源電池電量表示、（）点滅＝電源電池電量表示、（）点滅＝電源電池電量表示、（）点滅＝電源電池電量表示

フィデー内表示：H＝プログラム自動露出表示、P＝プログラム自動露出表示、A＝絞り優先自動露出表示、M＝ハイパーマニュアル露出表示、bu＝バブル表示、スズ＝ズームクリップ表示、露出＝露出補正

LCDパネル表示：H＝プログラム自動露出表示、P＝プログラム自動露出表示、A＝絞り優先自動露出表示、M＝ハイパーマニュアル露出表示、bu＝バブル表示、スズ＝ズームクリップ表示、露出＝露出補正

セルフタイマー：ミラー
プレビュー：

フィルム入れ

巻き上げ・巻き戻し

露出計・測光範囲

露出補正

オートブラケット

メモリーロック

ストロボ

シンクロ

電源

電池消耗警告

裏ぶた

大きさ・質量（重さ）

付属品

クーペ仕様

データ機種・表示

データの書き込み方法

データ表示

データの種類

使用可能フィルム速度

データ電源

発光角度

約5000回

お問い合わせは次の各サービス窓口へ

仙台サービスセンター

新潟サービスセンター

横浜サービスセンター

静岡サービスセンター

東京サービスセンター

札幌サービスセンター

■営業時間：

ベンタックスフォーラム（新宿）

午前10時30分〜午後6時30分

東京サービスセンター

協力：2020年4月から（予定）

地方サービスセンター

札幌サービスセンター

中部本社ビル

ことを報告しています

日本印刷新聞社

©2020年印刷新聞社
お申込み・お問い合わせは上記ペンタックスファミリー事務局まで。

ペンタックスファミリーのご案内
ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブです。年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントへの参加や修理料金の会員割引など様々な特典があります。
アフターサービスについて

● 旭光学のサービス窓口では、ベンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリーが展示され、手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
● 他社製品（レンズ、アクセサリー等）との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。

1. 修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。郵送の場合は、カメラの化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかり包装し、書留小包でお送りください。なお、不良を伴うフィルムやプリント、また、故障内容は正確にメモして添付していただけると原因分析に役立ちます。

2. 保証期間中（ご購入後1年間）は保証書（販売店印、および購入年月日が記入されているものを）をご提示ください。保証書がないと、保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用は、お客様にご負担願います。

3. 保証期間以後の修理は原則として有料です。なお運賃諸掛りはお客様にご負担願います。

4. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後、10年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたしません。なお、期間以後であっても、修理可能な場合もありますから、当社の各サービス窓口にお問い合わせください。

5. 外国旅行をされる場合、各サービス窓口ではお客様の保証書と交換に、国際保証書を発行いたします。（保証期間中のみ有効）なお、特定の旅行先でのサービス窓口の住所については、お問い合わせください。

旭光学工業株式会社
〒174 東京都板橋区前野町2丁目36番9号
ベンタックス販売株式会社
〒100 東京都千代田区永田町1丁目11番1号

☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。 02-9501